

第5回パソコン入カスピード認定試験問題 (23.2.12)

日 本 語 部 門

(制限時間 10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

[書 式 設 定]

1. A4 縦長用紙
2. 1行の文字数を30字、1ページの行数を30行に設定しなさい。
3. ヘッダーに試験実施校名、受験番号を入力しなさい。
4. ページ番号を答案用紙の下に入れること。
5. プロポーショナルフォントは使用しないこと。

[注 意 事 項]

1. 問題のとおり、すべて全角文字で入力しなさい。
2. 長音は必ず長音記号で入力しなさい。
3. 入力したものの訂正や適語の選択などの操作は制限時間内に行いなさい。
4. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することが許されています。

試験終了後

1. 答案用紙が2枚以上になった場合、左端上をステープラ(ホチキス)でとめなさい。
2. 答案用紙、試験問題を提出しなさい。

第5回パソコン入力スピード認定試験 (23.2.12)

【日本語部門】

最近の車社会は、女性や高齢のドライバーが増えていることが、	30
特徴としてあげられる。その結果、一般の道路にも、運転手が安全	60
な運転を実現するために、トイレなどを完備した休みが取れる施設	90
が必要になった。また、運転手だけではなく、子どもやお年寄りな	120
ど、同乗者に利用しやすいことも求められている。	144
これらのことを背景に誕生したのが、道の駅である。このような	174
施設が主だった鉄道の駅のように、地域で中核を形成するといわれ	204
ている。なぜなら、道路を通して地域での関係づくりが進み、多様	234
なサービスを提供することが可能になるからだ。その結果、地域の	264
経済を活性化させることが期待される。	283
この道の駅は、国土交通省に登録が必要な道路施設である。その	313
目的は、ドライバーや同乗者のための休憩場所と、その地域の振興	343
だ。当初は、地方の幹線道路から整備を始めたために、都内にはな	373
かった。そして、平成19年4月には、都内では初めての道の駅が	403
八王子市滝山にできた。これで、すべての都道府県に登録された。	433
平成22年8月現在では、全国に952か所が登録されている。そ	463
の数が最多なのは、北海道の110か所である。	486
また、その形態は単独設置だけではない。空港や鉄道の駅に併設	516
する形もある。ハイウェイオアシスと連絡することで、高速道路の	546
利用者にも使用できるようにしている施設がある。さらに、船舶や	576
港の施設である、みなとオアシスや海の駅と重複して登録している	606
駅が、全国で9か所存在する。	621
道の駅には、全部で3種類の機能がある。1つ目は、道路利用者	651
の休憩機能である。このため公衆電話やトイレ、駐車場などについ	681
ては、24時間利用することが可能である。しかし、この休憩施設	711
の設置間隔の距離基準については、高速道路にあるサービスエリア	741
(SA)のように、明確な設置基準は存在していない。	767
2つ目は、情報発信機能である。利用者に対して地域の道路情報	797
や歴史・文化・観光などの情報を提供するために、案内窓口を設置	827
している。3つ目は、地域の連携機能である。その地域でしか食べ	857

第5回パソコン入力スピード認定試験 (23.2.12)

【日本語部門】

られない珍しい食品や、地域の特産品の買い物を楽しみに訪れる人も多い。そのため、近隣の農協（JA）が中心に連携し、農産物の直売所やレストランで、地元の食材を積極的に提供している。	887 917 946
その他にも、女性や高齢者、身障者などすべての人が使用しやすいように、バリアフリー化が図られている。さらに、景観についても十分な配慮が施されている。特に景勝地では、地域の優れた景観を損なわないように計画・施工されている。	976 1006 1036 1057
あるアンケートの結果によると、関東地区で人気の高い施設は、千葉県にある道の駅「しょうなん」である。平成13年4月に県内8番目の道の駅として、柏市に誕生した。この柏市は、首都東京から近いにも関わらず、手賀沼や利根川に代表される自然が豊かな町だ。柏駅周辺を中心とした商業集積地と自然が、見事に調和していることから、ベットタウンとしても大変有名である。	1087 1117 1147 1177 1207 1232
しょうなんの大きな特徴は、休憩場所と地域情報の収集が可能な案内ホールがあることだ。さらに、地元で収穫された新鮮な農産物を販売する直売所や、沼全体を一望できるレストランも置かれている。また、沼の散策に大変便利な貸し自転車の受付場所を、沼周辺に6か所も設置している。どこの受付場所でも、自転車の貸し出しや返却が可能であり好評だ。自然と農業のふれあいを大きなテーマに掲げた、都市農業センターも設置されている。このように、工夫や努力の結果、平成21年10月には、来場者数が念願の1千万人を突破した。	1262 1292 1322 1352 1382 1412 1442 1472 1479
各地域においても、集客に向けた催しを実施している。本年1月16日まで実施されたスタンプラリーが、その代表例である。関東方面では、1都6県と山梨県・長野県の駅が対象であった。ラリーへの参加方法は、最初に10駅か全駅制覇を選択して申し込む。そして、専用冊子を購入してスタンプを押すか、携帯電話にその駅のQRコードを読み込んで収集する。全駅制覇した場合は、認定証と専用ステッカーが、応募者全員に発行されるので人気が高い。	1509 1539 1569 1599 1629 1659 1688
さらに、道の駅同士を結ぶために、新しい試みも行われている。	1718

第 5 回パソコン入力スピード認定試験 (23.2.12)

【日本語部門】

ある会社が、平成 22 年 9 月から道の駅を対象に、会員制で運営している土産品相互取引サイトを始めた。このサイトを利用すると、各駅で売れ筋のお茶菓子や人気のお漬物、缶詰などの商品を購入することが可能となる。その結果、各駅は商品の品揃えを増やすことができる。

その仕組みは明快である。会員の道の駅が、売れ筋商品を駅長のお勧め商品として出品し、注文品は郵送で届ける方法だ。代金については、サイト上で一括決済を行う。入手した商品は、各駅で地域ごとの郷土料理やご当地スイーツ売り場を設けて、目玉商品として販売する。開設当初は、沖縄県の海ぶどうや宮崎県のカレーなど、全国 15 種類の売れ筋商品を取り扱い、順次出品する商品を増やしていった。

道の駅には、シンボルマークが存在する。その主な題材は、木と家である。左側には駐車場と樹木 2 本を描くことで、緑あふれる安らぎの空間を表現した。右側には建物と人間を描くことで、案内や地域情報発信などの機能があることを表現した。この人間の形は、インフォメーションの頭文字である「i」を意味している。

このマークに象徴されるように、道の駅には設置者の強い願いが込められている。施設利用者のためにも、地域の人にとっても、親しみやすく潤いのある交流の場であって欲しいという願いだ。今後、両者のオアシスとして、道の駅がさらに発展することを期待してやまない。